

かごしま散歩

錦江湾や桜島を庭園の景観に



19代島津光久によって築かれた薩摩藩主島津氏の別邸。幕末に鹿児島を訪れたオランダ人やイギリス人との交流の場としても利用された。最大の魅力は錦江湾や桜島を庭園の景観にとり入れた雄大な景色。敷地内には、旧集成館反射炉跡がある。

■ 名勝 仙巖園〔磯庭園〕

☎8:30~17:30(年中無休) ☎099-247-1551
料 大人(高校生以上)1,000円、小・中学生500円

桜島一望の絶景レストラン



仙巖園内にある、桜島を眺めながら薩摩の郷土料理を楽しめるレストラン。地産地消を目指して鹿児島の食材をふんだんに使った「薩摩郷土料理御膳」をはじめ、新鮮な鯛の切身をさっとだし汁にくぐらせ、特製胡麻ポン酢でいただく「鯛しゃぶ御膳」や奄美地方に伝わる「鶏飯御膳」なども人気。

■ 御膳所 桜華亭

☎11:00~16:00(オーダーストップ15:30)

島津ファン必見のオリジナルグッズ



仙巖園に隣接する博物館・尚古集成館内にあるミュージアムショップ。島津家800年の収蔵品をモチーフにしたオリジナルグッズはもちろん、薩摩切子のアクセサリーなど旅の思い出にぴったりの商品がずらり。鹿児島に関連する書籍も充実しており、歴史好きな方には特におすすめ。

■ 尚古集成館ミュージアムショップ

☎8:30~17:30

「まち巡りバス」で自由に巡ろう！

仙巖園はもちろん、鹿児島市の主要観光地、西郷銅像、城山展望所、天文館、維新ふるさと館等をめぐります。

☎いわさきコーポレーション(株)
099-259-2888



170円/回
1日乗車券
500円



2 旧集成館反射炉跡

鉄製の大型砲を造るための反射炉の跡地。建設当時、日本は鎖国体制だったため、オランダの書物だけを参考に建設された。

3 旧鹿児島紡績所技師館

日本初の洋式機械紡績工場で技術指導を行っていたイギリス人の宿舎として建てられた技師館(異人館)。ドアノブが腰より低い位置についているのは、ふすまの開け閉めをイメージしたもの。

☎鹿児島市吉野町9685-15 ☎099-247-3401

4 寺山炭窯跡



燃料の増産を目指して建築された炭焼き窯。石炭をほとんど産出しないため、領内の森林資源に着目。火力が強く、商品価値の高い白炭を製造。大量の鉄やガラスを溶かすために活用された。

☎鹿児島市吉野町10710-68
☎鹿児島市教育委員会 文化財課
099-227-1962

4 関吉の疎水溝



21代島津吉貴が造成した用水路を改修し、集成館事業の動力として安定的に水を供給した。全長は約7km。関吉には、その取水口の跡が残り、疎水溝の一部は、現在も灌漑用水に使われている。

☎鹿児島市下田町1263先
☎鹿児島市教育委員会 文化財課
099-227-1962



鹿児島

「明治日本の産業革命遺産」

1 旧集成館機械工場 金属加工のほか艦船や蒸気機関の修理などが行われた機械工場。現存する日本最古の西洋式工場建築物。現在は、「尚古集成館」として親しまれている。 ☎鹿児島市吉野町9698-1 ☎099-247-1511

国内初の近代洋式工場群「集成館」
西洋列強に立ち向かうため
立ち上がった島津斉彬。
全国8県11市23資産の「明治日本の産業革命遺産 製鉄・製鋼・造船、石炭産業」が世界文化遺産に決まりました。鹿児島島の構成資産は「旧集成館(機械工場・反射炉跡・鹿児島紡績所技師館等を含む)」「寺山炭窯跡」「関吉の疎水溝」。いずれも鹿児島市内で見学することができます。
集成館とは、西洋列強の植民地化に強い危機感をおぼえた当時の薩摩藩主・島津斉彬が築いた工場群のこと。製鉄・造船・ガラス・紡績などさまざまな事業に取り組んだ、日本の産業近代化の先駆けになったこの事業を「集成館事業」といいます。

〈問い合わせ〉
企画財政局 企画部 世界文化遺産推進室
〔住所〕鹿児島市山下町11-1
〔電話番号〕099-216-1504
〔ファクス〕099-216-1108

幕府や他藩の近代化事業と異なるのは、軍事色が濃い製鉄や造船だけでなく、紡績やガラス、教育や医療など幅広い事業が行われたこと。藩の軍事力の強化だけでなく、人々の暮らしを豊かにして国力をつけようとしたさまざまな事業が展開されました。
集成館事業は、近代産業の基盤となり、全国に殖産興業を広めた原点といえるでしょう。

日本の近代産業の基盤
となった取り組み

歴史と自然にあふれた、とっておきのおでかけスポットを巡る
「おでかけ遺産」。2回目は、2015年に世界文化遺産に登録された鹿児島島の明治日本の産業革命遺産について紹介します。